

# 月刊☆里親だより

第65号 2015年3月10日(火)(公財)全国里親会

## ◆第1回 日本フォスターケア研究会を開催

2月14日(土)、東京・渋谷の「子どもの城」において第1回日本フォスターケア研究会が開催されました。午前10時半から設立総会を開催。総会には、87名の関係者が参加し、設立に当たっての必要事項が審議されました。

まず、準備委員会がこれまで取り組んできた経過報告があり、準備委員会会長の星野崇氏が議長となり、議事が進められ、研究会設立趣旨、会則、事業計画、役員選出などについて承認されました。理事には、次の4名と監事1名が選任されました。

星野崇(全国里親会長) 相澤仁(武蔵野学院長)

小田切則雄(全国里親会理事)

林浩康(日本女子大学教授)

監事 青葉紘宇(東京養育家庭の会理事長)

会則では理事の任期は3年ですが、今期に限り次回総会までの暫定任期とし、今後会員を募り、27年度総会に改めて理事を選任することとしています。

研究会の略称はJ a F C A(ジャフカ)。事務所は、差しあたって全国里親会の事務所に置かれることになりました。(研究会は、全国里親会とは別の団体になります。)

引き続き11時半から、上鹿渡和宏氏(長野大学準教授)により『社会的養護における研究・実践・施策の協働の重要性について～今を生きる子どもの最善の利益から考える』と題して基調講演が行われました。午後からは次の6人の先生方をお願いして研究発表が行われました。

藤野興一(全国児童養護施設協議会会長)、桑名佳代子(宮城大学教授)、白井千晶(静岡大学準教授)、河尾豊司(相模女子大学教授)、ト藏康行(宮城県里親会会長)

なお、次回研究会は、12月初旬を予定しておりますが、研究発表は、公募になります。

## ◆平成26年度第2回理事会開催

3月10日(火)理事会が開催され、27年度事業計画及び収支予算が承認されました。

ア 調査研究事業

・里親等実態調査の実施

イ 里親の育成事業

・里親に対する研修

○ 全国里親会大会 10月24日・25日

鹿児島県霧島市 霧島ロイヤルホテル

○ ブロック研修会 開催地及び開催日

北海道 9月6日 北広島市

東北 7月18・19日 青森市浅虫

関東甲信越静 7月11日 長野市

東海北陸 6月6・7日 富山県黒部市

近畿 7月11日 堺市

中国 6月27・28日 広島市(修正済み)

四国 9月6日 高松市(修正済み)

九州 10月24・25日 霧島市

ウ 里親制度の普及啓発事業

・「里親だより」(季刊、月刊)の発行、配布

・里親リクルートのためのチラシの作成

エ 里親相互の連絡協調

・ホームページ、メーリング等による情報の提供、意見交換

オ 東日本大震災及び大規模災害の被災里親及び児童に対する支援

・「東日本大震災子ども救援基金」による支援及び募金活動

・大規模災害の被災里親等に対する支援  
カ その他、法人の目的を達成するために必要な事業

・J X里親家庭奨学助成への協力

・里親賠償責任保険加入手続き等

・運営委員会の開催

## ◆平成26年度J X-E N E O S奨学助成金決定

高校を卒業し進学が決定した児童等489名に1人当たり10万円の助成が3月17日(火)の審査会で決定し、今月末には送金されます。

内訳では、・里親家庭86人(前年度96人)、児童養護施設348人(同304人)、母子生活支援施設55人(同51人)という結果でした。この助成制度は、平成15年度から行われてきましたが、数年間、対象者(申請者)が一人もいない県が数県あります。該当者がいないのか、里親家庭まで、周知されていないのかが気になるところです。

## ◆全国児童福祉主管課長会議開催

3月17日(火)厚生労働省において、主管課長会議が開催され、平成27年度の児童福祉行政について方針が示されました。社会的養護の充実については、・施設における家庭的養護の推進を図るため、職員の配置基準の改善や小規模化を行う。

・里親支援機関事業の拡充

・児相の里親担当者の専任化や支援相談員等の活用

・新規里親や未委託里親のトレーニング事業の実施

・家庭的養護推進計画の策定(都道府県)